

町政運営の基本方針

- 1 予算の重要性と町の未来**
的確な政策と賢い予算配分で町の未来を拓く
- 2 「ハードからハートへ」のまちづくり**
人への投資・地域資源への投資を重視
- 3 町民参加と連携の重要性**
町民参加が生み出す、共に創る未来
- 4 透明性・説明責任の徹底**
町民・議会への丁寧な説明を徹底
- 5 町政運営の重点課題**

① 安心・安全な暮らし



災害対策・医療・福祉の充実

② 人口減少対策
地域活性化



定住・移住促進、地域振興

③ 子育て・教育の充実



支援体制強化、学びの環境整備

④ 産業振興



農林業・観光・地場産業の振興

⑤ 財政健全化



持続可能な財政運営

令和8年度 予算額が大きな事業

・大井川鐵道全線復旧への支援	74,834千円
・高度情報基盤設備譲渡に係る高度化事業補助金	360,315千円
・情報基盤設備高度化に伴う同報系システム改修	43,004千円
・災害復旧工事	139,567千円
・三ツ星学園体育館空調設備	80,300千円
・し尿処理仕舞処理	46,200千円
・し尿処理施設解体に係る事前調査	5,940千円



三ツ星学園体育館での授業の様子

生活支援事業

- ・物価高騰対策生活者支援給付金事業
- ・物価高対応子育て応援手当
- ・プレミアム付商品券事業
- ・電子クーポン事業
- ・義務教育学校（前期課程）の給食費無償化



町政懇談会 報告

未来へ「つなぐ」まちづくり

町政懇談会（全5会場）を開催し、令和8年度の重点施策や今後のまちづくりの方向性について説明をするとともに、町民の皆さまから多くのご意見・ご提案をいただきました。主な内容をお知らせします。

町長挨拶・取り組み説明

町政懇談会の開催にあたり、皆さまにご参加いただきありがとうございました。この4年間は、新町建設計画に基づき、学校再編や斎場整備、し尿等中継施設整備、北小学校解体など、大規模事業を進めてきました。また、台風第15号災害では激甚災害指定を受け、国や県の支援を活用しながら復旧に取り組んできました。今後も大井川鐵道全線復旧への支援や情報基盤設備の高度化、防災・教育環境整備など多くの課題があります。

これからは、「ハードからハートへ」を基本理念に、人への投資と地域資源への投資を進めながら、未来につながるまちづくりを進めていきます。



中長期的なまちづくりの展望 ハードからハートへ 未来へ「つなぐ」

人への投資

豊かな人材を育て、町の将来につなげる

- ・選ばれるまちづくり
- ・この町ならではの子育て
- ・グローバル人材の育成
- ・魅力ある教育支援
- ・生活のための支援・サービスの充実

地域への投資

地域資源を活かし、人をつなげる

- ・大井川鐵道全線復旧への支援
- ・観光を軸とした地域振興
- ・地域を支える産業施策の展開
- ・災害の備え、生活インフラの確保
- ・情報化

皆さまからいただいた ご意見・ご質問

町政懇談会では、防災・子育て・観光・地域活性化など幅広い分野について、多くのご意見やご質問をいただきました。主な内容を紹介いたします。



主なご意見・ご質問と町の回答

1 大井川鐵道全線復旧と地域活性化



Q 意見・質問

全線復旧を地域活性化の好機と捉え、観光振興や移住・定住促進につなげるべきではないか。

A 町の回答

大井川鐵道や地域事業者、住民の皆さまと連携しながら沿線のにぎわいづくりや観光振興に取り組みます。

2 奥大井音戯の郷の今後



Q 意見・質問

売却だけでなく、無償譲渡なども含めて検討すべきではないか。

A 町の回答

まずは民間事業者への売却を最優先にしながら、状況に応じて今後の方向性を検討していきます。

3 子育て支援と人口減少対策



Q 意見・質問

給食費無償化や子どもの遊び場整備など、より踏み込んだ子育て支援を進めてほしい。

A 町の回答

子育て支援は重要な施策の一つ。給食費支援だけでなく、保育料軽減や教育支援なども含め、総合的な子育て環境の充実に取り組んでいきます。

4 茶業振興と産業の活性化



Q 意見・質問

茶農家の高齢化や茶工場の減少が進む中、川根茶をどのように守っていくのか。

A 町の回答

製茶施設の更新支援や品質向上支援を継続。今後も川根茶を地域の重要な資源として位置付け、持続可能な茶業の在り方を検討していきます。

5 防災・情報伝達体制



Q 意見・質問

かわねフォン終了後の災害情報伝達や、緊急時の連絡体制に不安がある。

A 町の回答

屋外スピーカーに加え、LINE、ホームページ、テレビデータ放送、広報紙などの複数の手段を活用し、迅速かつ確実な情報発信に努めます。

6 地域資源の活用と公共施設



Q 意見・質問

小学校跡地や空き地などの地域資源を有効活用するほか、施設バリアフリー化を進めてほしい。

A 町の回答

住民意見を伺いながら活用方法を検討。施設老朽化やバリアフリー対応についても、財政状況を踏まえながら計画的に進めていきます。

7 リニア中央新幹線と自然環境



Q 意見・質問

水資源や生態系への影響が心配であり、町として積極的に対応してほしい。

A 町の回答

流域自治体や関係機関と連携しながら、環境保全や土砂対策などについて引き続き取り組んでいきます。

8 道路・交通・地域生活に関すること



Q 意見・質問

高齢者のために、おでかけ号の運行範囲を、町外まで拡大してほしい。

A 町の回答

おでかけ号は、町内バス補完サービスとして運行しています。町外移動には、利用要件を満たしている方は、外出支援サービスをご利用ください。

町長からのメッセージ

今回の町政懇談会では、多くの皆さまから貴重なご意見や提案をいただきました。町では、いただいたご意見を今後の町政運営に活かしていくとともに、将来のまちづくりの指針となる「第3次総合計画」の策定に反映してまいります。

これからも町民の皆さまと共に考え、共に創るまちづくりを進めていきます。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



その他いただいたご意見・ご質問や当日の資料は、ホームページからご覧いただけます。

主な報告事項

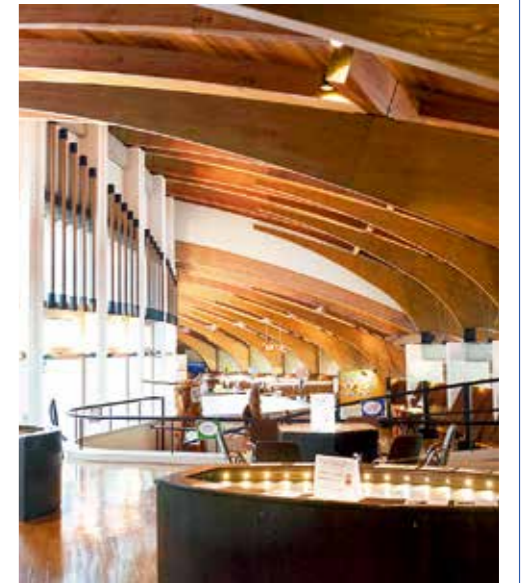
1 大井川鐵道復旧事業の進捗について

- ・令和11年春の全線開通を目標に総額4億円の支援を予定
- ・本年度は、約7,400万円の大井川鐵道への補助金を予算化し、町内区間の土砂除去工事などを進める。
- ・大井川鐵道、地域事業者、住民が連携しながら、復旧後のにぎわいづくりを進めていく。



2 奥大井音戯の郷の今後について

- ・継続的な赤字運営による財政負担の増大と、認知度不足による入館者数の減少が課題。
- ・財政負担を伴わず、集客力のある施設として再編するため、民間事業者への公募売却を進める。



今後の予定

6～9月	鑑定評価・公募
9～12月中旬	事業者選定
12～2月下旬	契約交渉
来年度～	実施計画・リニューアル工事
令和11年3月末	リニューアルオープンを目指す

参加者数 (延べ154名)

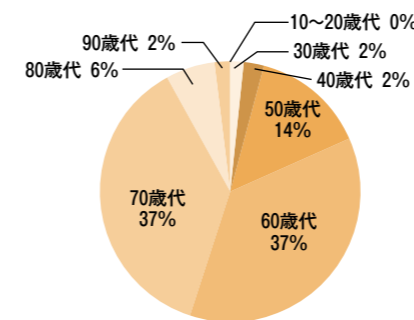
	会場名	参加者数
1	奥泉集会所	27名
2	北部振興センター	29名
3	徳山コミュニティ防災センター	21名
4	山村開発センター	38名
5	地名地域振興センター	39名

アンケートでのご意見

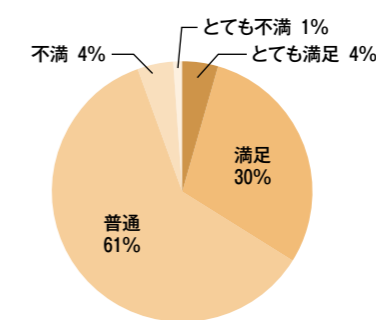
- ・毎年開催してほしい。
- ・地区ごとで開催してほしい。
- ・今回のようにまとまった会場での開催も、いろんな地域の方の意見が聞けてよかった。
- ・取り組んでいるテーマ(改善)が聞いてみたい。
- ・事前に資料を公開、質問を受け付けて回答してくれたら嬉しい。

アンケート結果 (回答者116名)

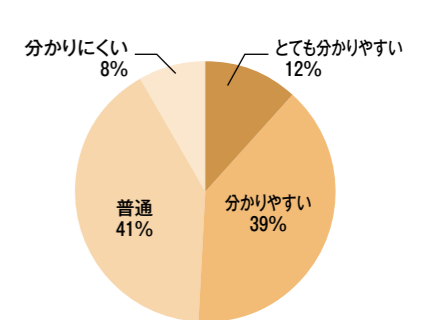
Q.1 参加者の年代



Q.2 総合的な満足度



Q.3 説明のわかりやすさ



ご意見・ご感想ありがとうございました。